

氏名	青木 勇麻	都道府県	徳島県
所属	徳島市国府小学校 6 年		



<作品コメント>

家ちく衛生や、アフリカ豚熱感染という言葉も聞いた事はありませんでした。けれど、ポスターを書く前に調べて人がルールを守ること、病気を防げることを知りました。これからは、自分たちが出来ることを行動して、ポスターをみてもっとたくさんの人に知ってもらいたいと思いました。

<審査員コメント>

紙面を広く使った構図が印象的です。絵具の質感も、通行者の目を引き、ポスターを見てもらえる要因になっていると思います。

氏名	平田 詩織	都道府県	茨城県
所属	吾妻小学校 6年		



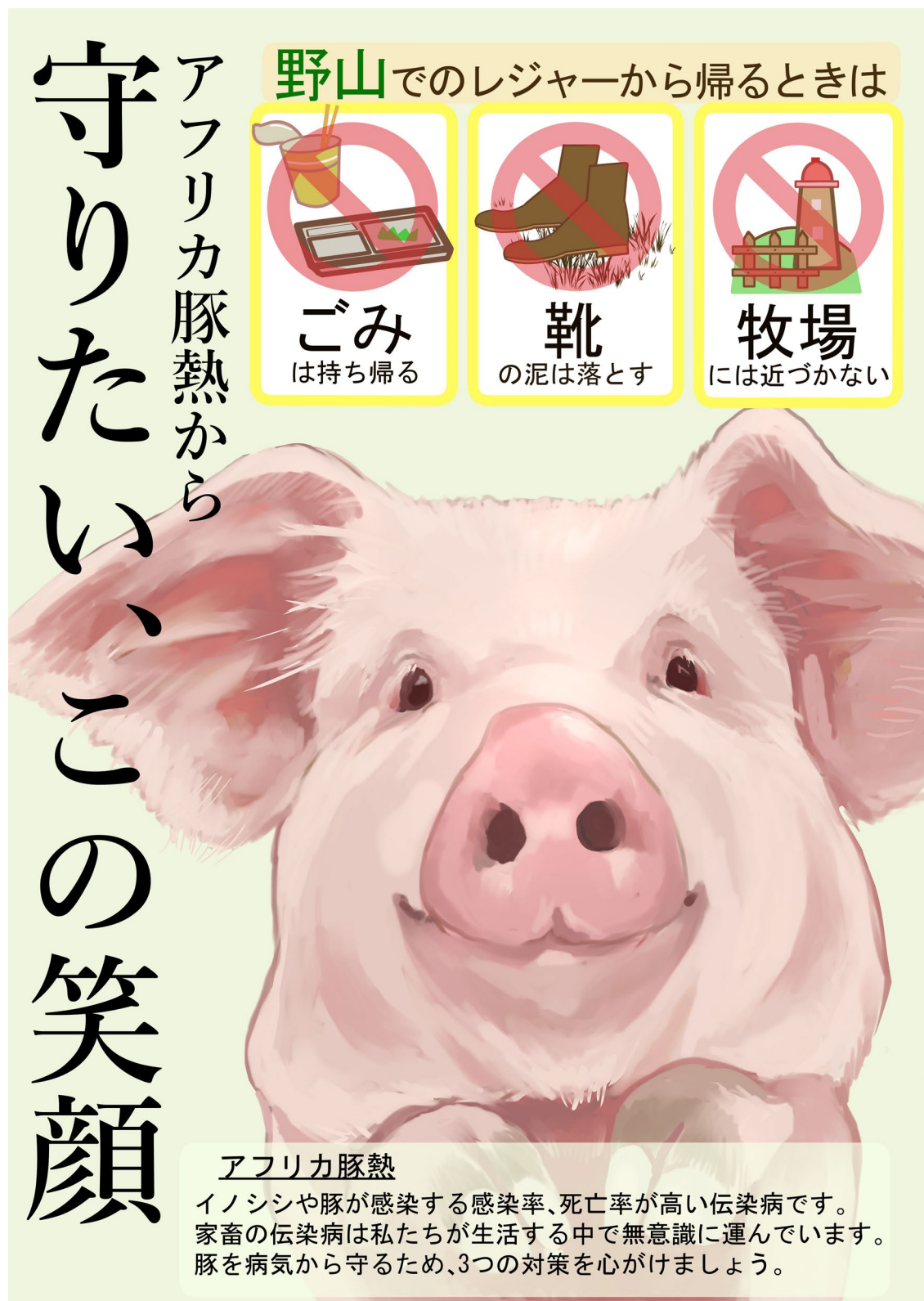
<作品コメント>

アフリカ豚熱のことを調べたら、この病気が日本に入ると私たちの食生活が大きく変わってしまうことが分かりました。ウイルスが日本に持ち込まれないようにするほか、自分たちにもできる対策があることを知ってほしくて、このポスターを描きました。

<審査員コメント>

「靴底の洗浄・消毒は家畜衛生の第一歩」は非常に重要なメッセージです。ブラシの毛先やズボンの質感など、丁寧に描かれている部分も評価しました。

氏名	小林 香梅	都道府県	神奈川県
所属	公務員		



<作品コメント>

アフリカ豚熱について、アジアで数少ない清浄国である日本を、このままの状態を保ちたい気持ちを込めました。致死率の高いアフリカ豚熱から、愛らしい豚さんの命をみんなで守っていきましょう！という気持ちになればいいと思います。

<審査員コメント>

豚の柔らかい笑顔が印象に残ります。ルールについてもシンプルに提示され、解説も簡潔で分かりやすいです。

氏名	野田 里咲子	都道府県	愛知県
所属	-		



<作品コメント>

このポスターデザインは、アフリカ豚熱の流行の発端になりうるウイルスを含んだ土を運ぶ靴裏が影を落とした先に、日本の養豚業界が今にも踏み潰されそうになっている様子を表現しています。あまり一般的ではない病気、また意外な感染源や対策についてあまり知識が無い人の目にも入るようなアイキャッチを意識しました。

<審査員コメント>

「靴」「養豚」をトピックにした作品が多数ある中で、想像力を膨らませ、他にない表現をされていることを評価しました。